



第27回 全日本学生選手権個人ロードレース大会



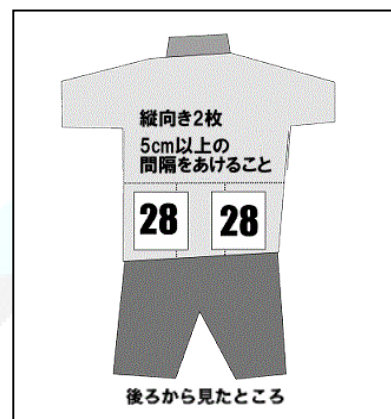
2011年6月18日(土)～19日(日) 長野県木曾郡木祖村・奥木曾湖周回特設コース
主催：日本学生自転車競技連盟 / 共催：(財)日本自転車競技連盟 長野県自転車競技連盟
後援：木祖村 木祖村観光協会 協賛：株式会社パールイズミ ブリヂストンサイクル株式会社
財団法人 JKA 全国競輪場施設協会 社団法人全国競輪施行者協議会 やぶはら高原イベント実行委員会
財団法人日本自転車競技会 社団法人日本競輪選手会
協力：独立行政法人水資源機構味噌川ダム管理所 木曾広域消防本部

Communiqué.03

大会総務委員長 井上武夫
大会チーフコミッサー 松倉信裕

1. ゼッケン・フレームプレートの取付け

- (1) ゼッケンの装着は一般規則に準じる。(右図参照)
また、ゼッケンは大会終了後、すみやかに大会本部に返却すること。
未返却・紛失は、1000円のペナルティーとなる。
- (2) フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。
中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、
左側に寄せること。また、どうしてもフレーム前部に取り付けることが
不可能な場合、シートピラーに取付けることを認めるが、
脚部で隠れないよう十分突き出した位置にしっかり固定すること。



2. 器材の交換について

- (1) 競技中の器材交換は、主催者提供の共通器材車によるほか、P.7(奥木曾大橋手前)と P.18(源流ふれあい館前)においてのみ、地上にいるチームスタッフからの器材提供・修理支援を認める。
- (2) 共通器材車に積載する車輪は、学校名を明記し、スタートの30分前までに大会本部まで持参すること。
なお、レース中に交換車輪を受け取った者は、レース終了後、速やかに大会本部に返却すること。
- (3) 飲食料補給区間での器材修理および交換は、落車の原因となるので禁止する。

3. スタート・ラインでの整列順序(男子レースのみ)

- ・ 最前列：前年度本大会上位10位以内の選手
- ・ 第二列：クラス1の選手
- ・ 第三列：クラス2の選手

4. 失格時の注意事項

- (1) 周回遅れで失格となった選手は、自らゼッケンはずし(フレーム・プレートは外さない)、原則として自力でフィニッシュエリアに帰ること。
- (2) 自主的に競技を途中棄権した選手は、フィニッシュエリアの審判に必ず棄権の旨を伝えること。通告のない場合はペナルティーとなる場合があるので注意すること。

5. 雨天時のスタート地点の変更

- (1) サインシート設置場所はトンネル出口 P.18 近傍とする。
- (2) スタート前の選手待機場所は、トンネル内を使用する。この場合、進行方向左側(湖と反対側)の車線は車両が通行できるように、必ず空けておくこと。

7. 飲食料補給

- (1) 飲食料の補給場所は、ダム上の現場に指定された区間(スタート地点付近の直線)とする。進行方向右側(湖側)のみから行うこと。飲食料補給は下記の間認め。

- (1) 男子
5周回完了直前
(スタート後約44km, 前方の周回板表示あと15のとき)から
19周回完了直前
(フィニッシュ迄あと10km, 前方の周回板表示あと1のとき)迄
- (2) 女子
5周回完了直前
(スタート後約44km, 前方の周回板表示あと6のとき)から
10周回完了直前
(フィニッシュ迄あと10km, 前方の周回板表示あと1のとき)迄

8. 無線機の使用禁止

- (1) 本大会で、選手の無線機使用は禁止する。